

# おむつ交換(テープタイプの紙おむつ)

- 1 石けんで手を洗い、必要物品を準備する。子どもの足を手前にして仰臥位に寝かせる



- 2 ディスポーザブル手袋を着用する

- 3 足元から衣服を開け、腰より上で衣類をまとめる



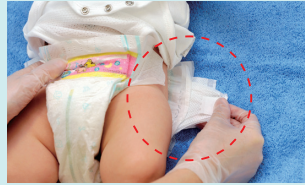
- 4 殿部に片手を差し入れて軽く持ち上げ、新しいおむつを汚れたおむつの下に入れる



- 5 新しいおむつを広げ、ギャザーを立てる



- 6 汚れたおむつのテープを外す



- 7 汚れたおむつを開く。おむつの汚れている部分を内側に折り込み、その上に子どもの殿部を置く



- 8 排泄物を観察する  
・尿・便の量と性状(色, 形, 臭い, 混入物の有無)

- 9 湿らせた綿花または尻拭きで陰部、殿部の汚れをやさしく丁寧に拭き取る



- ・男児は陰茎、陰嚢の裏を丁寧に拭き取る
- ・女児は前から後ろへ、中央から両外側へと、拭く面を変える

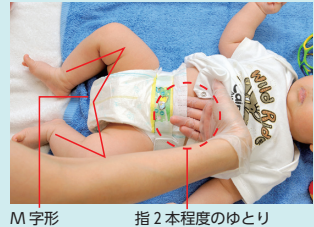
- 10 陰部、殿部を自然乾燥させた後、皮膚を観察する

- 11 殿部に片手を差し入れて軽く持ち上げ、汚れたおむつを丸めて引き抜く

- 12 4で入れておいた新しいおむつを当て、左右対称となるように両脇のテープを止める



- 13 おむつの上端は臍の下までとし、腹部に指が2本入る程度のゆとりをもたせる



M字形 指2本程度のゆとり

- 14 腹部や股のギャザー部分が出ていないか確認し、子どもの衣類を整え、元の位置に寝かせる



- 15 汚れたおむつを片づけ、石けんで手を洗う

# 沐浴

## 1 環境・使用物品の準備

沐浴室の環境を整える

- ・室温を 24~26℃ 前後、湿度は 50~60% に調節する

## 2 沐浴槽の7分目程度を目安に湯をためる

- ・湯温は 38~40℃ に調節する

## 3 必要物品を整える

- ・沐浴後、すぐに着替えられるよう、着替えの肌着と衣服の袖を合わせて通し、おむつ、バスタオルも広げておく

## 1 沐浴の実施

沐浴槽の湯を用い、ガーゼで顔を拭く

- ・①目頭→目尻、②顔全体、③鼻の下→口の周り、④耳の後ろの順に
- ・新生児の場合は体温が低下しないよう、肌着を着たまま顔を拭く



## 2 子どもの肌着を脱がせ、おむつを外す

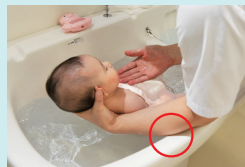
## 3 全身の皮膚の状態を観察し、体重を測定する

## 4 沐浴布で子どもの身体を包み、沐浴槽へ移動する

## 5 子どもの両腕と胸部を覆うように沐浴布をかけ、左手で子どもの後頸部、右手で殿部を支えて、足元からゆっくり湯に入れる



## 6 右手を子どもの殿部から離し、子どもの身体に湯をかける



後頸部を支える前腕を沐浴槽の縁につけると安定する

## 7 頭部を洗う

## 8 頸部・上肢・胸腹部を洗う



母指と食指で頸部を洗う

沐浴布をずらして胸部・腹部を露出させ、手掌で円を描くように洗う



沐浴布を胸腹部に戻してかけ、上肢と腋窩を洗う



## 9 腹臥位にして後頸部～背部、殿部を洗う



右手で子どもの左腋窩を支える

後頸部から背部・腰部を円を描くようにして洗う



## 10 左手で後頸部を支えながらゆっくり仰臥位に戻す。仰臥位になったら沐浴布をかける

## 11 下肢、鼠径部・陰部を洗う

## 12 肩まで湯に入れ、子どもの身体を温める

## 13 利き手でかけ湯を行い、沐浴槽から上げる。バスタオルで身体をくるみ水分を拭き取る

# シャワー浴・入浴

## 1 環境の準備

浴室内の環境を整える

- ・脱衣スペースや浴室内の温度 25℃ 前後に、湯温は 38～40℃ の適温にしておく

## 2

中断なく介助できるように浴室に必要物品を準備する

## 1

### シャワー浴・入浴の介助

必要であれば子どもが衣服を脱ぐ介助をする



## 2

### 顔を洗う



- ・自分で顔を洗えない場合は、顔に湯がかかると声をかけたうえで、顔を洗う介助をする

## 3

### 頭を洗う

- ・子どもに少し上を向いてもらう。後頭部から少しずつ前髪に向かって湯をかけていき、顔に湯がかからないように濡らす

- ・必要に応じてシャンプーハットを使用する
- ・子どもが安楽に入浴できる姿勢(座位、つかまり立ち、立位など)を確認しておく



シャンプーハットを使用

## 4

### 身体を洗う

## 1

### 更衣の介助

入浴後、速やかにバスタオルで全身をやさしく拭き、必要であれば保湿をして衣服を着せる



## 2

タオルで十分に拭いてから髪を乾かす



ドライヤーは 20～30 cm 離して動かしながら扱う

## 1

### DIV, PICC, CV 留置中に入浴

必要最小限の脱衣のあと、DIV, PICC, CV 留置部位の保護を行う

《DIV, PICC の場合》

- ・刺入部をラップフィルムで保護し、シーネを含めてビニールで覆う。その部分に水が入らないように端をテープでとめる



《CV の場合》

- ・留置部位にガーゼなどを当てて保護し、上からラップフィルムで覆い、フィルムテープでとめる

## 2

留置部位は湯につけないように注意して入浴する



## 3

入浴後、DIV, PICC, CV の保護を外す。刺入部やカテーテル、シーネが濡れていないことを確認し、留置部位を清拭する

ビニールやフィルムテープに残っている水滴を拭き取ってから、皮膚を損傷しないように剝離剤などを用いてテープを剥がす

# 清拭

## 1 物品・環境の準備

清拭に必要な物品を準備する

- ・タオル清拭(ディスポーザブル)：タオル(身体用4~5枚, 顔用1枚)を電子レンジで温める
- ・タオル清拭(液状清拭剤使用)：タオル(身体用4~5枚, 顔用1枚)を準備し, ペースンに55℃前後の湯を準備し液状清拭剤を入れる



- ・衣服を脱いだらバスタオルやタオルケットで上半身を覆っておく



## 2 部屋の環境を整える

- ・室温は20~25℃に調整する

## 3 上半身を拭く

- ・タオルの温度を確認し, 身体を拭いていく
- ・首→前胸部→背部→上肢→手指の順に拭く
- ・首・腋窩・指の間など皮膚が密着している部分は広げて念入りに拭く



## 1 清拭の実施

顔を拭く

- ・目頭から目尻に向かってやさしく拭く。その後, 鼻から頬→額→鼻の下→口の周り→耳の後ろの順に拭く



## 2 上半身の衣服を脱がせる

- ・点滴をしている場合は点滴をしていないほうの腕から衣服を脱がせる



## 4 上半身の衣服を着せる

- ・点滴をしている場合は点滴をしているほうの腕から袖を通す
- ・着るときと脱ぐときでは腕を通す順番が逆になるので注意する



## 5 下半身の衣服を脱がせる

- ・衣服を脱いだらバスタオルやタオルケットで下半身を覆っておく

## 6 下半身を拭く

- ・おむつやパンツは履いたまま, まず下肢から拭いていく
- ・鼠径部, 膝窩部, 足首, 趾の間など皮膚が密着している部分は広げて念入りに拭く

## 7 陰部洗浄を行う(「殿部浴・陰部洗浄」の手順マップ参照)

## 8 下半身の衣服を着せる

## 9 使用した物品を片づける

## 10 清拭中の様子, 皮膚の状態などを観察し, 記録する

# 殿部浴・陰部洗浄

## 1 環境・使用物品の準備

部屋の環境を整える  
・室温は 20~25℃ に調整する

## 2 必要物品を準備する

・着替えとバスタオルを広げておく  
・殿部浴の場合、ベースンとかけ湯用のピッチャーを用意する  
・湯の温度は 38℃ 前後とし、ベースンに 6~8 分目くらいまで湯を入れる  
・感染が考えられる場合はベースンにビニールを敷く  
・陰部洗浄の場合、陰部洗浄用のボトルに湯(38℃ 前後)を用意する

## 1 殿部浴の実施

ディスポーザブル手袋、ビニールエプロンを装着する

2 子どもの下半身の衣服、おむつを脱がせ、上半身の衣類が濡れないように裾をまくり上げておく

3 子どもの殿部(乳児までは下肢まで)を湯に入れる

4 石けんを使い、陰部・殿部を洗う  
・女兒の場合：陰唇を開き、尿道口から肛門に向かって洗う

・男児の場合：陰茎・陰囊の順に洗う。陰囊の裏やしわを伸ばしながら洗う



5 子どもの陰部・殿部を少し湯から出し、前面・後面からかけ湯をする



6 子どもの下半身をバスタオルで包み、水分をしっかりと拭き取る。殿部が乾いたことを確かめてからおむつをつけ、衣類を整える



## 1 陰部洗浄の実施

ディスポーザブル手袋、ビニールエプロンを装着する

2 ベッドに防水シートを敷く。衣類に湯がかからないように衣類の裾はまくり上げておく。子どものおむつを外し、新しいおむつを殿部の下に敷く

3 陰部洗浄用のボトルで湯をかける



4 ガーゼに石けんをつけて陰部を洗浄する

5 陰部洗浄用のボトルで湯をかけ、泡を洗い流したら防水シートを外し、新しいガーゼまたはタオルで水分をしっかりと拭き取る

6 おむつをつけ、衣類を整える

7 子どもの状態を観察し、アセスメントする

8 殿部浴・陰部洗浄に使用した物品を片づける